

高度技術提案型総合評価方式の適用事例（H18年度）

地整名	北海道	東北	東北	北陸	
工事名	一般国道274号日高町新ウエンザル橋新設工事	胆沢ダム林道代替若柳橋工事	日本海沿岸東北自動車道大川目沢橋上部工事	三条築堤及び樋管改築工事	
工事の概要	一般国道274号に設置する新ウエンザル橋について、施工計画にかかる実施設計及び施工を一括して発注する設計施工一括発注方式の試行工事である。 (実施設計) ・橋梁上部工：一式（PRC構造除く）、橋梁下部工：一式 ・護岸工：一式、仮設工：一式（架設含む） (工事) ・橋梁上部工：一式（PRC構造除く）、橋梁下部工：一式	胆沢ダムの林道に設置する若柳橋について、実施設計及び施工を一括して発注する設計・施工一括方式の試行工事である。 (実施設計) ・橋梁上部工設計：一式、橋梁下部工設計：一式 ・仮設工設計：一式、道路設計：一式 (工事) ・橋梁上部工：一式、橋梁下部工：一式 ・仮設工：一式、土工：一式	日本海沿岸東北自動車道に設置する大川目沢橋の上部工について施工を行う工事である。 ・7径間連続ラーメン鋼2主桁橋 ・橋長：L=431m ・幅員：W=10.5m ・工場製作、輸送、架設：約1,320t ・床版：約4,530m ²	信濃川堤防築堤及びそれに伴う既設の裏留取水樋管、石上取水樋管、荒町下水放水樋管、荒町ポンプ場第二樋管の補強・改築を行うにあたり、実施設計及び実施施工を一括して発注する工事である。 (実施設計) ・樋管改築：4基 (実施施工) ・築堤盛土工：一式 ・樋管改築工：4基	
公告日	平成18年8月4日	平成18年8月24日	平成18年6月29日	平成18年8月28日	
開札日	平成18年12月12日	平成19年1月31日	平成18年10月13日	平成19年2月5日	
工期	平成21年3月上旬まで	平成22年11月30日まで	平成21年1月30日まで	平成21年3月20日まで	
手続期間	約4ヶ月	約5ヶ月	約3ヶ月半	約5ヶ月	
高度技術提案型の分類	Ⅱ型	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅱ型	
発注条件	設計・施工一括	設計・施工一括	施工	設計・施工一括	
発注範囲	なし	なし	あり	なし	
標準案の有無	なし	なし	あり	なし	
評価項目	①構造の成立性 ②ライフサイクルコスト低減のための対策 ③品質管理方法 ④施工計画の実現性 ⑤施工計画に有効な新技術・新工法の適用性	①維持管理に関するライフサイクルコスト低減対策について（設計） ②橋梁上部の出来型、品質の向上について（施工） ③橋梁下部（基礎を含む）の出来型、品質の向上について（施工） ④工事時の周辺環境等への配慮について（施工）	①工場製作時の品質管理および輸送時の製品管理 ②桁架設時の精度管理 ③橋脚柱頭部の剛結コンクリートの品質管理 ④床版コンクリートの品質管理 ⑤地覆部コンクリートの品質管理	①継足樋管工の構造設計の成立性（設計） ②既設構造物の対策の妥当性（設計） ③維持管理の容易性（施工） ④施工計画の実現性（施工） ⑤現地条件を踏まえた創意工夫（施工）	
総合評価の方法及び技術評価点の設定	除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：30点（①6点②6点③6点④6点⑤6点）	除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：30点（①10点②7点③7点④6点）	除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：30点（①6点②6点③6点④6点⑤6点）	除算方式 ・基礎点：100点 ・加算点：40点（①15点②5点③5点④10点⑤5点）	
要求要件	①～⑤技術提案及び施工計画が施工条件を満たしていること。	①維持管理に関するライフサイクルコスト低減対策が提案されていること。 ②橋梁上部の出来型、品質の向上に係る施工計画が示されていること。 ③橋梁下部（基礎を含む）の出来型、品質の向上に係る施工計画が示されていること。 ④工事時の周辺環境等への配慮に係る施工計画が示されていること。	①～⑤施工計画が設計図書における施工条件、及び土木施工管理基準を満たしていること。	①～⑤技術提案の内容が適正であること。	
評価方法	①構造の成立性：技術提案及び施工計画の内容を優（6点）／良（3点）／可（0点）で判定して評価を行う。 ②ライフサイクルコスト低減のための対策：（同上） ③品質管理方法：（同上） ④施工計画の実現性：（同上） ⑤施工計画に有効な新技術・新工法の適用性：（同上）	①「維持管理に関するライフサイクルコスト低減対策について」：設計内容を優（10点）／良（5点）／可（1点）で判定して評価を行う。 ②「橋梁上部の出来型、品質の向上について」：施工計画の内容を優（7点）／良（3.5点）／可（1点）で判定して評価を行う。 ③「橋梁下部（基礎を含む）の出来型、品質の向上について」：施工計画の内容を優（7点）／良（3.5点）／可（1点）で判定して評価を行う。 ④「工事時の周辺環境等への配慮について」：施工計画の内容を優（6点）／良（3点）／可（1点）で判定して評価を行う。	①工場製作時の品質管理および輸送時の製品管理：施工計画の内容を優（6点）／良（3点）／可（0.5点）で判定して評価を行う。 ②桁架設時の精度管理：（同上） ③橋脚柱頭部の剛結コンクリートの品質管理：（同上） ④床版コンクリートの品質管理：（同上） ⑤地覆部コンクリートの品質管理：（同上）	①継足樋管工の構造設計の成立性：設計に関する技術提案の内容を優（15点）／良（7.5点）／可（0点）で判定して評価を行う。 ②既設構造物の対策の妥当性：設計に関する技術提案の内容を優（5点）／良（2.5点）／可（0点）で判定して評価を行う。 ③維持管理の容易性：技術提案の施工計画を優（5点）／良（2.5点）／可（0点）で判定して評価を行う。 ④施工計画の実現性：技術提案の施工計画を優（10点）／良（5点）／可（0点）で判定して評価を行う。 ⑤現地条件を踏まえた創意工夫：技術提案の施工計画を優（5点）／良（2.5点）／可（0点）で判定して評価を行う。	
総合評価に関するペナルティの取り扱い	・工事成績評定の減点（減点数=-10×（審査時の評価値-施工後の評価値）／審査時の評価値）	・工事成績評定の減点	・工事成績評定点の減点	・工事成績評定点の減点 ・違約金	
技術対話の方法	技術提案の改善概要 改善過程の公表の有無	未公表	改善事項なし	未公表	
予定価格の作成	技術評価点の最も高い技術提案に基づき予定価格を算出。 予定価格（税込み）580,154,400円	採用となった技術提案のうち、最も安価な技術提案に基づき予定価格を算出。 1,035,531,000円	採用となった技術提案のうち、最も安価な技術提案に基づき予定価格を算出。 1,132,204,500円	技術評価点の最も高い技術提案に基づき予定価格を算出。 750,372,000円	
落札結果	入札参加者数	5社 (予定価格内3社)	4社 (予定価格内3社)	3社 (予定価格内3社)	3社 (予定価格内1社)
	落札者名	(株)ピーエス三菱	三井住友建設(株)	川田工業(株)	鹿島建設(株)
	落札価格(税込み)	467,250,000円 (落札率80.5%)	886,200,000円 (落札率85.6%)	924,000,000円 (落札率81.6%)	624,750,000円 (落札率83.3%)
	価格順位	1位 (最低価格者)	1位 (最低価格者)	1位 (最低価格者)	1位 (最低価格者)
	評価項目に対する提案内容	①PC2径間2室桁橋（中ウエブはプレキャスト） ②凍結防止剤による塩害対策、沓座付近の塩害や凍害対策等 ③グラウト品質管理、プレストレスの管理が仕様書より厳しい管理 ④片持ち架設工法、片側規制中位 ⑤プレキャストウエブ、アラミド3軸メッシュシート	①外・内ケーブルの併用、高密度ポリエチレンシースの採用等 ②鉛直打継ぎ目の減少、中央連結部における膨張コンクリートの使用等 ③高性能AE減水剤の添加、水平内継ぎ目の処理における防水工の実施等 ④低騒音低振動型の建設機械の使用等	①架設系（柱頭部、一括吊り上げ部、片持ち架設部）毎に隣接する架設系の各1部材を重複させて仮組を実施 ②柱頭部剛結部材の架設のために専用仮設架台を製作 ③FEMによる温度応力解析を実施 ④保水性の高い保温養生専用マットにより養生し、ひび割れを抑制 ⑤配力筋による収縮の拘束を緩和する新技術を採用	①優れた沈下解析、樋管構造計算手法の提案。遮断壁の根拠についての明確な記述。樋管の工期短縮や新技術の採用等。 ②具体的な補強対策の提案、新技術の採用。 ③経済設計。 ④周辺への影響について定量的な監視方法を提案。 ⑤複数の具体的な提案。
加算点	21.0点	21.5点	21.5点	30.0点	
加算点順位	1位 (最高得点者)	1位 (最高得点者)	1位 (最高得点者)	1位 (最高得点者)	

高度技術提案型総合評価方式の適用事例（H18年度）

地 整 名		中 部	中 部	中 部	近 畿
工 事 名		新丸山ダム国道418号新旅足橋上部工事	富士海岸堀川離岸堤工事	1号静岡昭府道路建設工事	第二京阪道路星田地区PC上部工事
工 事 の 概 要		新丸山ダムに設置する新旅足橋の上部工事である。 工事延長：L=462m ・PC3径間連続箱桁橋：一式 ・コンクリート橋上部（PC片持箱桁橋工）：一式 ・コンクリート橋上部（橋梁付属物工）：一式 ・コンクリート橋上部（仮設工）：一式 ・橋梁下部（橋台工）：一式 ・橋梁下部（PC橋脚工）：一式	富士海岸浦原工区に設置する離岸堤について、設計・施工提案を受け付けたうえで、実施設計及び実施施工を一括して発注する工事である。 (実施設計) ・有脚式離岸堤：一式 ・施工計画の策定（製作工、据付工、仮設工含む）：一式 (実施施工) ・有脚式離岸堤製作・据付（1基 L=100m）：一式 ・仮設工（ヤード整備等）：一式	一般国道1号静岡バイパスの賤機山トンネルの西側においてトンネルのアプローチ部分のボックスカルバート及びアーチカルバートの施工を行う工事である。 工事延長：L=270m ・道路土工、法面工、擁壁工、舗装工、排水工：一式 ・プレキャストアーチ工：一式（60m） ・箱型函渠工：一式（170m） ・仮設工：一式 ・水替工：一式	第二京阪道路の星田地区に設置するプレストレスト・コンクリート橋について、上部工の実施設計及び実施施工を一括して発注する工事である。 (実施設計) ・橋梁上部工（専用部）：L=592m ・プレストレスト・コンクリート橋（16径間連続）：1橋（施工） ・実施設計と同様
公 告 日		平成18年8月24日	平成18年8月21日	平成18年10月17日	平成18年11月9日
開 札 日		平成19年1月18日	平成19年3月7日	平成19年2月28日	平成19年3月5日
工 期		平成22年1月15日まで	平成21年10月30日まで（実施設計は平成19年9月10日まで）	平成21年3月18日まで	平成21年3月10日まで
手 続 期 間		約5ヶ月	約6ヶ月半	約4ヶ月半	約4ヶ月
高度技術提案型の分類		Ⅲ型	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅱ型
発注条件	発注範囲	施工	設計・施工一括	施工	設計・施工一括
	標準案の有無	あり	あり	あり	なし
評 価 項 目		①PC上部工の施工日数の短縮 ②上記、①に関する具体的な施工計画 ③プレストレスト・コンクリート品質確保対策の具体的な施工計画 ④配置予定技術者の能力（ヒアリング）	①杭の押し込み支持力と引抜き抵抗力の確認方法 ②杭の打ち込み精度を向上するための方法 ③水質汚濁防止対策 ④漁船等への安全に配慮した施工計画 ⑤配置予定技術者の能力（ヒアリング）	①箱型函渠本体構造の品質向上に係る技術提案 ②地下水影響低減等を目的とした箱型函渠施工日数短縮 ③上記②の短縮日数の根拠に関する技術提案 ④配置予定技術者の能力（ヒアリング）	①構造物の成立性及び施工方法（橋梁上部工） ②品質管理方法（橋梁上部工） ③環境の維持対策 ④現地の条件を踏まえた施工計画及び新技術・新工法の適用性
総合評価の方法及び技術評価点の設定		除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：40点（①10点②10点③10点④10~10点）	除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：50点（①10点②10点③10点④10点⑤10~10点）	除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：40点（①10点②10点③10点④10~10点）	除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：30点（①12点②6点③6点④6点）
要 求 要 件		①標準案の条件を満たしていること。（PC上部工施工日数930日） ②③標準案の条件を満たしていること。	①～④標準案の条件を満たしていること。	①標準案の条件を満たしていること。（箱型函渠施工日数367日） ②～③標準案の条件を満たしていること。	①～④技術提案が適切であること。
評 価 方 法		①PC上部工の施工日数の短縮： 短縮日数の評価は、提示された短縮日数が最大の者に10点、最小の者に0点をそれぞれ付与し、その他は按分した点数を付与する。 ②上記、①に関する具体的な施工計画： 施工方法の妥当性と施工日数短縮の実行性（3点）、工程管理についての確実性（2点）、施工方法に関する工夫（4点）、安全管理についての適切性（1点）の各着目点毎に評価を実施し得点を付与する。 ③プレストレスト・コンクリート品質確保対策の具体的な施工計画： 技術提案の内容を優（10点）／良（5点）／可（2点）で評価し、標準案に基づき施工する場合には0点とする。 ④配置予定技術者の能力（ヒアリング）： 技術者の専門技術力（-2～4点）、当該工事の理解度・取り組み姿勢（-2～4点）、コミュニケーション能力（0～2点）の各着目点毎にヒアリング結果を評価する。また、全てに着目点について未回答の場合は10点を加算点から減点し、標準案に基づき施工する場合には0点とする。	①「杭の押し込み支持力と引抜き抵抗力の確認方法」の技術提案： 新技術・新工法の採用（2点）、施工方法についての工夫・提案（6点）、品質管理についての工夫・提案（2点）の各着目点毎に評価を実施し得点を付与する。 ②「杭の打ち込み精度を向上するための方法」の技術提案： 新技術・新工法の採用（2点）、施工方法についての工夫・提案（8点）の各着目点毎に評価を実施し得点を付与する。 ③「水質汚濁防止対策」の技術提案： 新技術・新工法の採用（2点）、施工方法についての工夫・提案（8点）の各着目点毎に評価を実施し得点を付与する。 ④「漁船等への安全に配慮した施工計画」の提案： 技術提案の内容を優（10点）／良（5点）／可（2点）で評価し、標準案に基づき施工する場合には0点とする。 ⑤配置予定技術者の能力（ヒアリング）： 技術者の専門技術力（-2～4点）、当該工事の理解度・取り組み姿勢（-2～4点）、コミュニケーション能力（0～2点）の各着目点毎にヒアリング結果を評価する。また、全てに着目点について未回答の場合は10点を加算点から減点し、標準案に基づき施工する場合には0点とする。	①箱型函渠本体構造の品質向上に係る技術提案： 技術提案（2点）、施工方法（4点）、品質管理（4点）の各着目点毎に評価を実施し得点を付与する。 ②地下水影響低減等を目的とした箱型函渠施工日数短縮（提案値）： 短縮日数の評価（10点）は、提示された短縮日数が最大の者に10点、最小の者に0点をそれぞれ付与し、その他は按分した点数を付与する。ただし、短縮日数の少ない提案に対しては最大10点を付与しない場合もある。 ③上記②の短縮日数の根拠に関する技術提案： 技術提案（2点）、施工方法（4点）、施工管理（4点）の各着目点毎に評価を実施し得点を付与する。 ④配置予定技術者の能力（ヒアリング）： 技術者の専門技術力（-5～4点）、当該工事の理解度・取り組み姿勢（-5～4点）、コミュニケーション能力（0～2点）の各着目点毎にヒアリング結果を評価する。また、②に関する施工日数の短縮がない場合は0点とする。	①構造物の成立性及び施工方法： 技術提案の内容を12点／9点／6点／3点／0点の5段階で判定し評価を行う。 ②品質管理方法： 技術提案の内容を6点／4.5点／3点／1.5点／0点の5段階で判定し評価を行う。 ③環境の維持対策： 技術提案の内容を6点／4.5点／3点／1.5点／0点の5段階で判定し評価を行う。 ④現地の条件を踏まえた施工計画及び新技術・新工法の適用性： 技術提案の内容を6点／4.5点／3点／1.5点／0点の5段階で判定し評価を行う。
総合評価に関するペナルティの取り扱い		・工事成績評定点の減点（特に悪質な場合は最大20点の減点） ・違約金（契約金額の10%を上限とする。） ※違約金=A-A×((B+C)/(B+D)) A：当初入札金額 B：標準点=100点 C：施工後の評価項目の実施工による加算点 D：当初入札時に記載した提案による加算点	・工事成績評定点の減点（特に悪質な場合は最大20点の減点） ・違約金（契約金額の10%を上限とする。） ※違約金=A-A×((B+C)/(B+D)) A：当初入札金額 B：標準点=100点 C：施工後の評価項目の実施工による加算点 D：当初入札時に記載した提案による加算点	・工事成績評定点の減点（特に悪質な場合は最大20点の減点） ・違約金（契約金額の10%を上限とする。） ※違約金=A-A×((B+C)/(B+D)) A：当初入札金額 B：標準点=100点 C：施工後の評価項目の実施工による加算点 D：当初入札時に記載した提案による加算点	・工事成績評定点の減点（最大10点の減点）
技術対話の方法	技術提案の改善概要	-	-	-	-
	改善過程の公表の有無	-	-	-	-
予定価格の作成	予定価格の作成方法	-	-	-	-
	予定価格（税込み）	-	-	-	-
落札結果	入札参加者数	-	-	-	-
	落札者名	-	-	-	-
	落札価格（税込み）	-	-	-	-
	価格順位	-	-	-	-
	評価項目に対する提案内容	-	-	-	-
	加算点	-	-	-	-
	加算点順位	-	-	-	-

高度技術提案型総合評価方式の適用事例（H18年度）

地 整 名		近 畿	近 畿	中 国	九 州
工 事 名		第二京阪道路茄子柵地区 PC 上部工事	十津川道路今戸トンネル工事	国道 31 号呉外舗装修繕工事	追内川排水機場新設工事
工 事 の 概 要		第二京阪道路の茄子地区に設置するプレストレスト・コンクリート橋について、上部工の実施設計及び実施施工を一括して発注する工事である。 (実施設計) ・橋梁上部工（専用部）：L=898m ・PC 橋（20 径間連続）：1 橋（L=790m） ・PC 橋（2 径間連続）：1 橋（L=108m） ・PC 橋（7 径間連続）ランプ部（ON）：L=278m、(OFF)：L=271m (施工) ・実施設計と同様	十津川道路の今戸トンネルについて実施設計及び実施施工を一括して発注する工事である。 (実施設計) ・トンネル坑口部：2 箇所 (施工) ・工事延長：L=1,846m	一般国道 31 号呉市海岸（呉工区）及び広島市安芸地区矢野西（矢野工区）付近における舗装修繕工事である。 工事延長：L=1,516m (呉工区) ・舗装工、歩道整備工：一式 (矢野工区) ・舗装整備工、車道舗装、歩道整備工等：一式	追内川における出水時の床上浸水被害等内水氾濫を防止するため、追内川排水機場を施工するものである。 ・河川土工：一式 ・機場本体工、吐出水槽工：一式 ・沈砂池工（護岸基礎工）：65m ² ・沈砂池工（法覆護岸工）：337m ² ・仮設工：一式
告 告 日		平成 18 年 11 月 9 日	平成 18 年 11 月 9 日	平成 18 年 11 月 16 日	平成 18 年 10 月 16 日
開 札 日		平成 19 年 3 月 5 日	平成 19 年 3 月 5 日	平成 19 年 3 月 5 日	平成 19 年 2 月 1 日
工 期		平成 21 年 3 月 10 日まで	平成 21 年 2 月 28 日まで	平成 19 年 7 月 31 日	平成 20 年 3 月 まで
手 続 期 間		約 4 ヶ月	約 4 ヶ月	約 3 ヶ月半	約 3 ヶ月半
高度技術提案型の分類		Ⅱ型	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅲ型
発注条件	発注範囲	設計・施工一括	設計・施工一括	施工	施工
	標準案の有無	なし	なし	あり	あり
評 価 項 目		①構造物の成立性及び施工方法（橋梁上部工） ②品質管理方法（橋梁上部工） ③環境の維持対策 ④現地の条件を踏まえた施工計画及び新技術・新工法の適用性	①構造物の成立性及び施工方法（トンネル坑口部 2 箇所） ②品質管理方法（トンネル坑口部 2 箇所） ③環境の維持対策 ④現地の条件を踏まえた施工計画及び新技術・新工法の適用性	①交通規制日数の短縮 ②近接する家屋に対する騒音対策 ③交通規制日数の短縮に関する具体的な施工計画 ④近接する家屋に対する騒音対策に関する具体的な施工計画 ⑤その他（企業の施工実績、配置予定技術者の能力 他）	①マスコンクリートのひび割れ防止対策 ②基礎杭打設工法における騒音・振動値の低減対策 ③矢板打設及び引抜き時の騒音・振動値の低減対策 ④旧施設基礎の破砕撤去時における騒音振動対策 ⑤仮締切設置撤去に伴う水質汚濁対策 ⑥県道の切り直し方法による交通規制期間の短縮 ⑦省資源対策、リサイクル対策、⑧その他（企業評価、技術者評価）
総合評価の方法及び技術評価点の設定		除算方式 ・標準案：100 点 ・加算点：30 点（①12 点②6 点③6 点④6 点）	除算方式 ・標準案：100 点 ・加算点：30 点（①9 点②6 点③6 点④9 点）	除算方式 ・標準案：100 点 ・加算点：45.1 点（①10 点②5 点③10 点④5 点⑤15.1 点）	除算方式 ・標準案：100 点 ・加算点：50 点（①4 点②12 点③8 点④～⑦各 4 点⑧10 点）
要 求 要 件		①～④技術提案が適切であること。	①～④技術提案が適切であること。	①短縮日数 0 日（交通規制日数 61 日）、かつ施工計画が適切であること。 ②施工計画が適切であること。	①～⑦標準案を満たしていること。
評 価 方 法		①構造物の成立性及び施工方法： 技術提案の内容を 12 点/9 点/6 点/3 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。 ②品質管理方法： 技術提案の内容を 6 点/4.5 点/3 点/1.5 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。 ③環境の維持対策： 技術提案の内容を 6 点/4.5 点/3 点/1.5 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。 ④現地の条件を踏まえた施工計画及び新技術・新工法の適用性： 技術提案の内容を 6 点/4.5 点/3 点/1.5 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。	①構造物の成立性及び施工方法： 技術提案の内容を 9 点/6.75 点/4.5 点/2.25 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。 ②品質管理方法： 技術提案の内容を 6 点/4.5 点/3 点/1.5 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。 ③環境の維持対策： 技術提案の内容を 6 点/4.5 点/3 点/1.5 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。 ④現地の条件を踏まえた施工計画及び新技術・新工法の適用性： 技術提案の内容を 9 点/6.75 点/4.5 点/2.25 点/0 点の 5 段階で判定し評価を行う。	①交通規制日数の短縮： 提案値の評価（10 点）は、提示された短縮日数が最大の者に 10 点、短縮がない場合に 0 点をそれぞれ付与し、その他は按分した点数を付与する。 ②近接する家屋に対する騒音対策： 技術提案の内容を優（5 点）/良（2.5 点）/可（1.2 点）で評価し、標準案に基づき施工する場合には 0 点とする。 ③交通規制日数の短縮（上記①）に関する具体的な施工計画： 提案値の実現性・有効性を確認するための施工計画の適切性を優（①の技術提案に与えられた得点）/良（①の技術提案に与えられた得点×1/2）/可（①の技術提案に与えられた得点×1/4）で評価し加算点を付与する。 ④近接する家屋に対する騒音対策（上記②）に関する具体的な施工計画： 技術提案の実現性・有効性を確認するための施工計画の適切性を優（5 点）/良（2.5 点）/可（1.2 点）で評価し加算点を付与する。 ⑤その他（企業の施工実績、配置予定技術者の能力 他） 各評価項目の評価基準に応じて加算点を付与する。	①マスコンクリートのひび割れ防止対策： 技術提案の内容を 5 段階（優：1 点/やや優：0.7 点/普通：0.5 点/やや劣：0.2 点/標準：0 点）で評価し、上記の配点により重み付けした値を加算点として付与する。 ②基礎杭打設工法における騒音・振動値の低減対策：（同上） ③矢板打設及び引抜き時の騒音・振動値の低減対策：（同上） ④旧施設基礎の破砕撤去時における騒音振動対策：（同上） ⑤仮締切設置撤去に伴う水質汚濁対策：（同上） ⑥県道の切り直し方法による交通規制期間の短縮：（同上） ⑦省資源対策、リサイクル対策：（同上） ⑧その他（企業評価、技術者評価）：（同上）
総合評価に関するペナルティの取り扱い		・工事成績評定点の減点（最大 10 点の減点）	・工事成績評定点の減点（最大 10 点の減点）	①交通規制日数の短縮が未達成の場合： ・工事成績評定点の減点（達成できなかった日数に対して、加算点と同様な方法で算出した値を減点） ・違約金（実際に確認できた交通規制の短縮日数に基づき加算点の再計算を行い、落札時の当該加算点との点差に対応した金額を違約金とする。） ②近接する家屋に対する騒音対策が未達成の場合： ・工事成績評定点の減点（遵守できなかった評価項目毎に「優」に相当する値を減点） ③④上記①（②）に関する具体的な施工計画が未達成の場合： ・工事成績評定点の減点（評価項目に与えられる満点に相当する点を減点） ⑤その他（技術者の配置）の評価項目が未達成の場合： ・工事成績評定点の減点（その他の評価項目のうち、「技能者の配置」について遵守できなかった場合は遵守できなかった評価項目に与えられた加算点と同じ値を減点）	・工事成績評定点の減点（各評価項目に与えられる加算点の満点に相当する点を減点）
技術対話の方法	技術提案の改善概要	—	—	—	未公表
	改善過程の公表の有無	—	—	—	
予定価格の作成	予定価格の作成方法	—	—	見積を参考とする者は、原則として①の加算点が最高の者とし、加算点と同点の場合は安価な者とする。また、労務・資材単価、機械経費、共通仮設費（率計上分）、現場管理費は原則として積算基準類により設定する。	技術評価点の最も高い技術提案に基づき予定価格を算出。
	予定価格（税込み）	—	—	—	478,348,500 円
落札結果	入札参加者数	—	—	—	6 社 (予定価格内 2 社)
	落札者名	—	—	—	(株) 福田組
	落札価格（税込み）	—	—	—	446,250,000 円 (落札率 93.3%)
	価格順位	—	—	—	1 位 (最低価格者)
	評価項目に対する提案内容	—	—	—	①温度応力解析の実施、水和熱抑制型膨張材の添加等 ②中掘杭工法（標準案）、モニタリングの実施等
	加算点 加算点順位	— —	— —	— —	18.9 点 1 位 (最高得点者)

高度技術提案型総合評価方式の適用事例（H18年度）

地 整 名		九 州
工 事 名		東九州道（鹿屋～大隅）新原橋工事
工事の概要		東九州道（鹿屋～大隅）に設置する新原橋について、実施設計及び施工を一括して発注する工事である。 （実施設計） ・橋梁上部工（L=220m程度）：一式 ・橋梁下部工、橋梁基礎工、付属物工、架設工、仮設工：一式 （施工） ・橋梁上部工（L=220m程度）：一式 ・橋梁下部工、橋梁基礎工、付属物工（舗装除く）、仮設工：一式
公告日		平成18年10月24日
開札日		平成19年3月9日
工 期		平成21年3月まで
手続期間		約4ヶ月半
高度技術提案型の分類		Ⅱ型
発注条件	発注範囲	設計・施工一括
	標準案の有無	なし
評価項目		①維持管理に関する技術的所見 ②構造体の疲労に関する耐久性 ③構造体の環境に対する耐久性 ④景観 ⑤環境の維持 ⑥交通の確保 ⑦特別な安全対策 ⑧省資源対策又はリサイクル対策 ⑨施工時の仮設工、架設機械配置、資機材搬入に関する施工計画
総合評価の方法及び技術評価点の設定		除算方式 ・標準点：100点 ・加算点：50点（①6点②～③各13点④4点⑤～⑥各1点⑦2点⑧1点⑨9点）
要求要件		①～⑨施工計画が示されていること。
評価方法		①維持管理に関する技術的所見： 技術提案の内容を5段階で判定し評価を行う。 ②構造体の疲労に関する耐久性：（同上） ③構造体の環境に対する耐久性：（同上） ④景観：（同上） ⑤環境の維持：（同上） ⑥交通の確保：（同上） ⑦特別な安全対策：（同上） ⑧省資源対策又はリサイクル対策：（同上） ⑨施工時の仮設工、架設機械配置、資機材搬入に関する施工計画：（同上）
総合評価に関するペナルティの取り扱い		・工事成績評定点の減点（各評価項目に与えられる加算点の満点に相当する点を減点）
技術対話の方法	技術提案の改善概要	—
	改善過程の公表の有無	—
予定価格の作成	予定価格の作成方法	—
	予定価格（税込み）	—
落札結果	入札参加者数	—
	落札者名	—
	落札価格（税込み）	—
	価格順位	—
	評価項目に対する提案内容	—
	加算点	—
	加算点順位	—